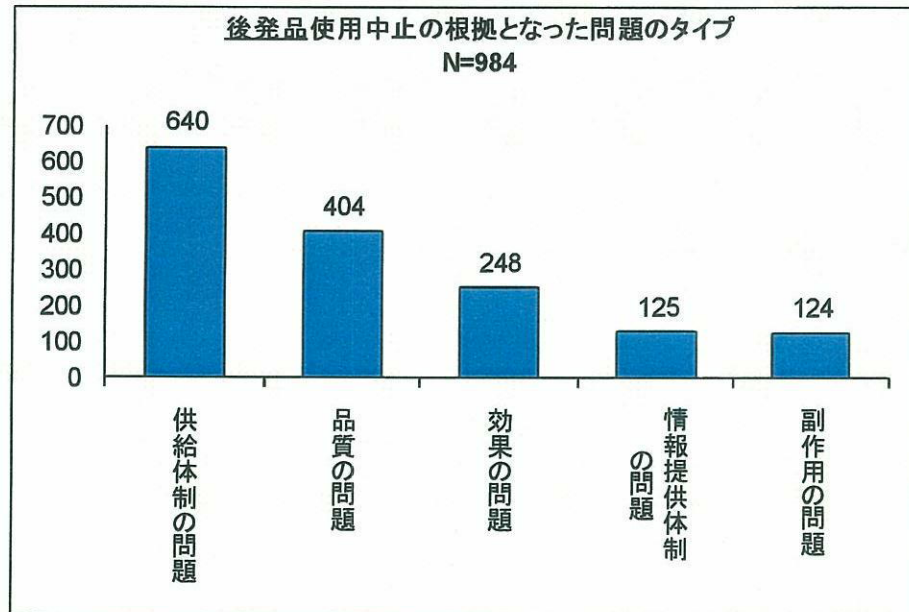


# 中止事例のタイプ

後発医薬品の中止事例の根拠となった問題のタイプでは、供給体制の問題(640病院で発生)が最も多かった。次いで、品質の問題(404病院で発生)が多かった。同様に、先発医薬品の中止事例でも、最も多かったのは供給体制の問題であり、次に多かったのは、品質の問題であった。

## 後発医薬品



## 先発医薬品

